

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	市民生活部	
	課 名	防災交通課	
	係 名	消防防災係	
	記 入 者		電話(内線) 281

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]		継続		(2) 事務事業 の名称		防火水槽新設事業(地域生活基盤施設整備事業)				(3) 事業の 優先度		A						
(4) 総合計画での位置づけ						(6) 事業主体			市									
① 事業の区分		主要事業						(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質		普通建設事業費(ハード事業)						
② 施策コード		24404		(総合計画掲載ページ 77 ページ)						会計区分		一般会計						
基本目標(政策)		2		安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						財源区分		国庫補助						
基本施策		4		安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)						予算科目		款 9 項 1 目 3						
施策				消防・救急体制の強化						予算書上の		地域生活基盤施設整備事業費						
施策内容				消防水利の設置						事業名称		(予算書 152 ページに掲載)						
(5) 事業期間		開始		平成		26		年		4		月から		(5) 事務分類		自治事務		
		終了						年				月まで()		根拠法令		消防法		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	結城市民	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)	市内全域における消火作業に対応するため、耐震性貯水槽を新設し、充足率の向上と適切な配置に努力する
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	消防水利が不十分な地区への耐震性貯水槽設置	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	火災時に消火栓を使用すると濁りが発生し、二次災害となる恐れがあるため、消防水利としての貯水槽の設置を進めている
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応			
地域住民からの設置要望に対応していく			

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映							
実施計画													
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）							
事業内容		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度			
(1) 事務事業費の コスト	事業費	耐震性貯水槽(40t 四ツ京)		6,210									
		耐震性貯水槽(40t 逆井)		7,517									
	合計		6,210		7,517								
	財源	国庫支出金 (千円)		2,322		3,000							
		県支出金 (千円)											
		地方債 (千円)		3,400		4,000							
		その他特定財源 (千円)											
		一般財源 (千円)		488		517							
合計 (千円)		6,210		7,517									
補助・起債制度名		社会資本整備総合 交付金／防災基盤 整備		社会資本整備総合 交付金／防災基盤 整備									

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	耐震性防火水槽(40t級)の設置	目標値	基		1			
		実績(見込)値		1	1			
		目標値						
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	公設基数	目標値	基		269			
		実績(見込)値		268	269			
		達成率		%	%			
		目標値						
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	消防水利の確保は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	開発行為等により、民間設置をする場合もある。
	手段の妥当性	A	妥当である	
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	公園予定地への先行埋設や同時施工によりコスト削減を図る。
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	公園予定地が区画整理地内が多いため、北部地域への設置が多い。
有効性	成果の向上	A	上がっている	
進捗度	事業の進捗	A	順調である	計画どおりである。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

施工条件により、費用が大幅に変わるため、地元の要望に対応するためには用地の協力が必要である。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

補助事業廃止のため、他事業により展開していく。

6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	統合・新事業への展開	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	消防防災の観点から、消防水利の確保が重要である。 消防水利が不十分な地域へ防火水槽を新設し、消防水利の充足率の向上と適切な配置に努めていく。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。